

(6) 港湾・漁港

《基本的考え方》

港は、古くから海上交通や流通及び漁業の拠点として、地域の玄関口の役割を担ってきた。港のたたずまいは、それ自体が情緒ある景観を形成しており、地域の住民はもとより、訪れる人々の心をなごませるものとなっている。

港湾・漁港の整備にあたっては、それぞれの港の持つ個性や情緒を尊重し、できる限り水に親しむことのできる構造とするとともに、緑化などを行い、親しみとうるおいのある空間づくりや港全体の快適性の向上、景観形成に努める。

①港湾・漁港施設（防波堤、岸壁、護岸等）

安全性や機能性を確保しながら、自然公園などの観光地及びその付近については、うるおいと親しみのある空間づくりを行い、港の景観との調和に努める。

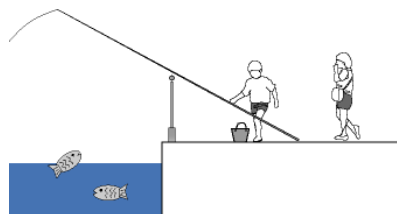
《配慮事項》

- 防波堤、岸壁などの構造物は、周辺景観に圧迫感や違和感を与えないように、形態をコンパクトにしたり、構造物の表面処理や材料などに配慮する。



自然国定公園にありレジャー観光地としても観光客が訪れるため、堤体に自然石を使用し、周辺の岩礁や島との調和に配慮（比那漁港／能登町）

- 釣り護岸を整備するなど、親水性の確保に努める。



釣り護岸による親水性の確保



釣り客を考慮し、手摺りなどを工夫して護岸を整備（大野護岸／金沢市）

②港内建築物等

建築物は、その形態、意匠及び色彩を工夫し、港の景観との調和に努める。工作物は、安全性・機能性を確保できる範囲で、港の景観との調和に努める。

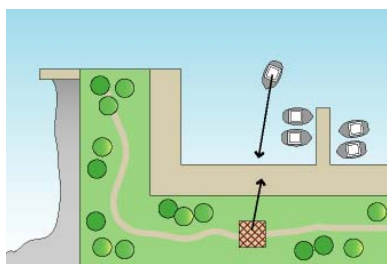
《配慮事項》

- 建築物については、地域の特性を踏まえたデザインとする。



マリーナに浮かぶヨットの帆をイメージして管理棟の屋根をデザイン
(滝港マリーナ／羽咋市)

- 港からの眺め、水域からの眺めに配慮する。



港や水上からの眺めを確保する



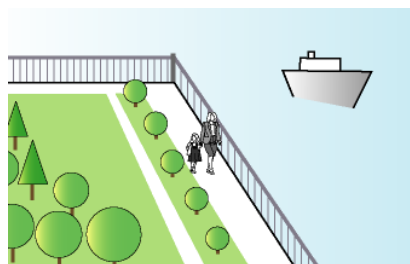
港町の風景に溶け込むよう建物の高さを抑え、青系の色彩とし、周囲には植栽を整備
(七尾マリンパーク／七尾市)

③港内緑化

港湾及び漁港区域内の余裕地には、緑化を図り、地域のふれあいの場として、港地域にうるおいと親しみをもたらすよう努める。

《配慮事項》

- 港の景観を活かした臨海部の緑化を図る。



港の景観を活かした潤いある空間の創出



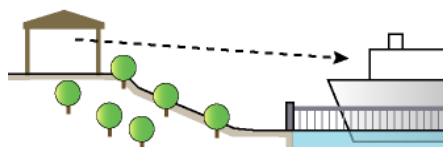
外周護岸の上部コンクリート表面に自然石を張り付け、イベント広場や親水空間を整備（七尾マリンパーク／七尾市）

- 地域住民が集い、賑わいの創出につながる公園・広場を設ける。

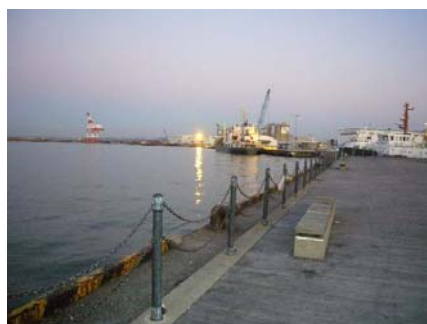


地域住民や観光客等が集う公園を整備（能登島マリンパーク海族公園／七尾市）

- 地域のふれあいの場とするため、港を望む視点場の整備に努める。



港を望む視点場の確保



港を望む場を整備（金沢港／金沢市）

(7) 空港

《基本的考え方》

空港は、来訪者に地域の玄関口としての第一印象を与えると同時に、地域の個性と魅力を伝える重要な施設であることから、空港全体のデザインコンセプトを作成し、周辺景観と調和のとれた質の高い空間を創出する。

① 空港施設

空港及び周辺整備は、周辺環境との調和に努める。

《配慮事項》

- 空港周辺からの景観に配慮し、法面部の緑化や植樹などにより、周辺環境との調和に努める。



珠洲道路に面した法面部を全て緑化し、森の中の空港をイメージして整備
(能登空港／輪島市)

- 空港内に展望台を設けるなど、滑走路をはじめとする空港特有の景観を活用し、来訪者の憩いの場の提供に努める。



滑走路及びターミナルビルを眺望でき、来訪者の憩いの場となるよう展望台を整備
(能登空港／輪島市)

②空港内建築物等

自然環境と調和した、環境にやさしい建築物とするよう努める。

《配慮事項》

- 外壁の色彩は、周辺の景観や施設のバランスを考慮したものとする。



自然との調和をイメージして、外観に明るく上品なホワイト系を採用
(能登空港／輪島市)

- 地域性を考慮したデザインの工夫に努める。



奥能登の山々の連なりをイメージして
歩道部の屋根を整備
(能登空港／輪島市)

(8) 海岸

《基本的考え方》

海岸は、古くから漁業をはじめとする生活活動の場として生活に深い関わりを持ち、今日では海洋レクリエーションの場として、人々が雄大な自然とのふれあいを求めることのできる場ともなっている。

また、海岸は生物の生息の場としても重要であり、海岸保全施設の築造にあたっては、できる限り自然に近い形態となるよう配慮するとともに、うるおいと親しみのある緑豊かな親水空間としての整備に努める。

①堤防・護岸

形態及び意匠の工夫や自然素材の活用などにより、周辺景観との調和に努める。

《配慮事項》

- 巨大な人工構造物の存在が海岸景観に圧迫感や違和感を与えないよう、天然石を用いた緩傾斜護岸などにより、護岸前面の海岸と背後の自然との一体性に配慮する。



天然石を用いた緩傾斜護岸により水域と陸域の一体性に配慮
(宝立正院海岸／珠洲市)

- 階段式護岸等の整備では、周辺景観に配慮する。



階段式傾斜護岸の背面を緑地として整備
(海岸保全施設川浦地区／珠洲市)

②海浜

自然海浜は、できる限り保全に努め、人工海浜を整備する場合は、周辺の自然景観との調和に努める。

《配慮事項》

- 自然の営力が生み出す微地形の変化や植生の変化等を尊重する。
- 海浜地形の傾斜や微地形の起伏等による高低差が生む景観的効果を活かす。
- 人工海浜を整備する場合は、海岸と背後の自然地や土地利用との連続性の確保、調和に努める。
- 突堤は、自然素材を用いるなど、自然景観との調和に努める。



全国で唯一車が走行できる千里浜海岸の貴重な砂浜を保全
(押水羽咋海岸／羽咋市、宝達志水町)



高低差を活かし、後浜に水平線を眺望できる視点場として水叩き工（ボードウォーク）を整備（富来漁港海岸／志賀町）



海水浴利用や背後の道の駅との連携を図った整備を実施（庵海岸／七尾市）



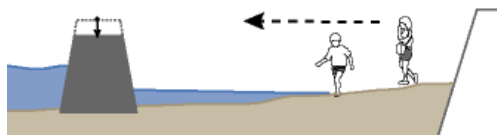
自然石を用いた突堤を整備
(庵海岸／七尾市)

③離岸堤

水平線への見通しを阻害しないよう工夫する。

《配慮事項》

- 防災機能を確保しつつ、天端高を極力抑えるなどの配慮を行う。



眺望に配慮し、天端高は極力抑える



人工リーフを採用することにより、水平線の見通しを阻害しないように配慮
(七塚海岸／かほく市)

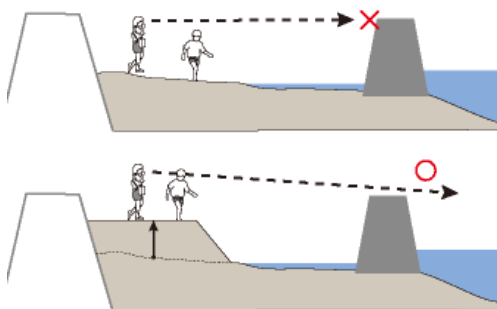


整備前



人工リーフの設置により、白砂青松の砂浜が復活し、レジャー拠点として利用
(宝立正院海岸／珠洲市)

- 離岸堤で整備を行うことにより、水平線への眺望が阻害される場合は、陸側の視点場の調整によって、見通しを確保するなどの配慮を行う。



後浜の嵩上げにより視点の高さを確保する



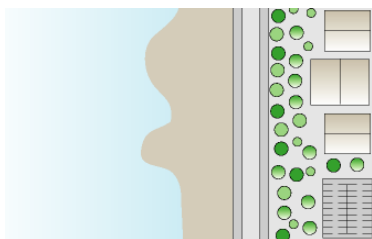
後浜を嵩上げて視点場を整備
(小舞子海岸／能美市)

④海岸緑化

海岸林や緑地、植栽は、その多様な機能、景観的な演出効果に配慮しつつ、適切な樹種、緑量、密度の選択に努める。

《配慮事項》

- 海浜と背後の都市との緩衝機能に配慮する。



海浜と建物等との間への植栽により緩衝



海浜と高速道路の間に松林を植樹
(松任 CGZ/白山市)

- 海岸固有の景観体験を踏まえた海岸林（松林）の配置に努める。



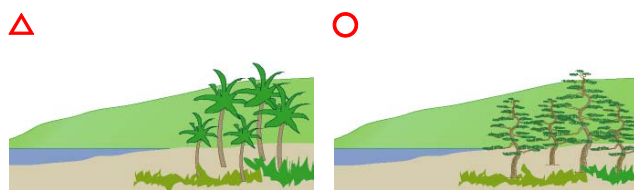
松林の植栽により、リゾートエリアの景観を演出
(富来漁港海岸/志賀町)

- 緑地等により人工的要素（道路、駐車場、宅地等）の遮蔽に努める。



道路と砂浜の間に緑地を設置
(増穂浦/志賀町)

- 地域の植生に即した植栽樹種を選択する。



地域に即した樹種を選択



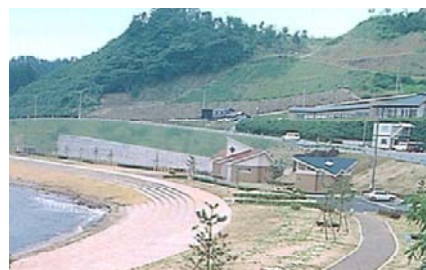
道路沿道に海岸景観を演出する松林を植樹
(能登有料道路/かほく市)

⑤その他施設（消波工、管理道路等）

形態、意匠及び色彩は、背後地、堤防、海岸等の周辺環境・景観との調和に努める。

《配慮事項》

- 周辺環境や景観との調和を図るため、意匠・素材・形状・色彩などに配慮する。



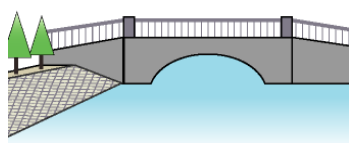
周辺環境への収まりに配慮して背後地の建築物（シャワー・トイレ施設）を整備（庵海岸／七尾市）

- 消波工は、周辺の景観に配慮し、位置や積み方を工夫する。



護岸前面に消波工を整然と設置（能登島海岸／七尾市）

- 隣り合う施設相互のデザインの連続性に配慮する。



隣接する施設ではデザインの不連続を避ける

(9) 公園・緑地

《基本的考え方》

公園緑地は、市街地の中心部から自然地域に至るまで様々な地域に設置されるとともに、その種類や設置目的も多岐にわたる。

それぞれの特性に応じた魅力的な景観形成に努めるとともに、公園緑地が存する地域と一体的な景観形成に資する配慮が必要である。

また、樹木などの自然物を構成要素として多用することから、四季の移り変わりや生長による景観の変化への配慮や、維持管理への配慮も重要となる。

①公園・緑地全般

立地、設置目的、利用形態、施設内容などの特性に応じ、利用と景観との調和に努める。また、地域の歴史や生活文化を活かし、個性的な景観形成に努める。

《配慮事項》

- 既存植生の活用や、地域の山並みなどの主要景観要素を借景としてとりこむなどにより、立地の景観特性に応じた景観形成に努める。

- 周辺の河川や道路など、関連する事業との連携を図り、境界部の処理などにおいて、景観の一体性・連続性を確保する。



周辺の関連事業に合わせて樹種を選択

- 歴史的資源（城跡・古墳・歴史的建造物等）の保全・活用を目的とする場合は、その史実性や歴史的建造物等の見え方に配慮する。

- 自然環境の保全を目的とする場合には、その区域等を明確にし、周囲との連続性に配慮する。

- その他、立地特性や設置目的などに応じた景観形成に努める。



湖面越しの白山眺望を活用
(木場潟公園/小松市)



史実に即して整備
(金沢城公園/金沢市)



歴史建造物との調和に配慮して整備
(中央公園/金沢市)

②植栽・緑化

目的に応じた樹種を選択、配植デザインを行うとともに、四季の移ろいや樹木、草花等の生長による景観の変化などを考慮し、将来にわたって良好な景観が保全・向上されるよう計画的な維持管理に努める。

《配慮事項》

- 植栽にあたっては、立地や気候条件、周辺の既存植生、四季の演出、将来の生長などを考慮のうえ、目的に沿った樹種を選定、配植デザインに努め、見え方、見せ方の工夫を行う。



整然と並んだアメリカワウの紅葉が秋を演出（中央公園／金沢市）

- 季節感や将来の生長を見込んだ植栽を行い、良好な景観形成を図るための適正な維持管理に努める。



生長を見込んで植栽



内堀沿いの桜並木が春を演出（金沢城公園／金沢市）



季節の彩りを添える花壇を整備（広坂緑地／金沢市）

③公園施設

設置目的・機能と景観との調和に努める。

《配慮事項》

- 建築物等の高さは、眺望するスカイラインの連続性等に配慮する。
- 外観デザイン、色彩等は、周囲の景観との調和に配慮するとともに、修景植栽等により、周囲との一体性や連続性の演出を図る。



施設のデザインや色彩を調和させる

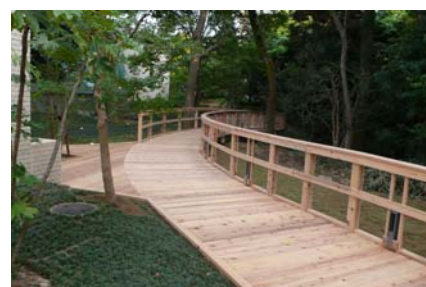
- 自然素材の活用により、周辺景観との調和を図るとともに、地場産品等の使用に努め、地域の個性を演出する。
- 緑豊かな地内では、環境に配慮し、生息する生物に優しい「自然と共生する」施設づくりに努める。



民家風の休憩所により、景観に調和するよう配慮（北部公園／金沢市）



手取川産石材を使用して地域の個性を演出
（白山ろくテーマパーク・ロックガーデン／白山市）



緑と調和する木製デッキを整備
（本多の森公園／金沢市）

(10) 公共建築物

《基本的考え方》

公共建築物には、庁舎をはじめ、学校、文化施設や集会施設、公営住宅、処理施設など様々な施設があり、これらは地域住民の生活と密接な関わりを持ち、多くの人々に利用されている。

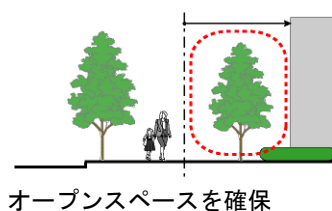
これらの公共建築物の整備にあたっては、開放的で親しみやすい施設にすることはもとより、地域の気候、風土、歴史、文化などの特性に配慮した質の高い建築物を目指すとともに、これらの多くが地域の景観形成において重要な役割を果たしていることを認識し、地域の景観形成において先導的な役割を果たすよう努める。

①配置

敷地内の建築物の配置計画は、景観や周囲の快適性等に大きく影響するため、構想段階から十分検討する。

《配慮事項》

- 既存の優れた自然景観や歴史的景観への眺望を活用した配置計画とし、借景等も併せて検討する。
- 自然地形の活用、敷地改変の最小化に配慮する。大きく地形を改変する場合は、発生する法面の安全はもとより、植生の復旧に努める。
- 周囲の建築物や街並みとの配置の連続性やバランスに配慮する。
- 中高層建築物では、周囲への威圧感の低減、快適性の確保のため、セットバックした配置に努め、施設用途に応じてオープンスペースの創出を図る。



九十九湾に面する周辺景観に溶け込むよう配慮（海の自然体験館／能登町）



エントランスホールから中庭越しに白山連峰を望めるよう配置（石川県立大学／野々市町）



都心軸に面してセットバックし、威圧感を低減（石川県庁舎／金沢市）

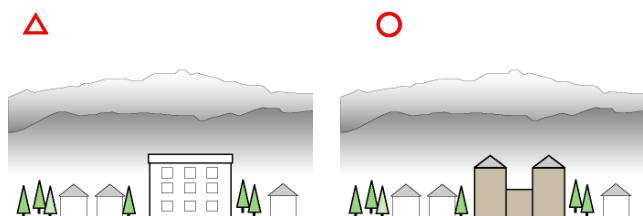
②形態・意匠

施設用途や立地状況を踏まえ、周辺景観になじませるか、あるいはランドマークとしてシンボル性のある建物とするかなど、形態・意匠について十分検討する。

《配慮事項》

ランドマーク的な建築物については、この指針によらず別途個別に検討するものとする。特にランドマーク等にする理由のないものについては、次の事項に配慮する。

- 周辺の建築物等の壁面線や屋根形状等の連続性に配慮し、スカイライン等を周辺景観と調和させる。



スカイラインとの調和に配慮



緩やかな勾配の大屋根とし、周辺環境との調和に配慮（いしかわ総合スポーツセンター／金沢市）

- 建築群として形態・意匠の調和を図り、建物相互のバランスに配慮する。



建替え前（箱形の無機質な建物）



金沢の街並みをイメージして黒瓦の屋根とし、最上階をセットバックして圧迫感を軽減（大桑県営住宅／金沢市）

- 自然的又は歴史的な特性を有する地域では、建物の形態・意匠に地域特性を活かすよう工夫する（建築様式や工法の継承）。



白山連峰をイメージして切妻の三角屋根を採用（石川県立大学／野々市町）

③色彩・照明

施設用途や立地状況を踏まえ、色相・色調を周辺建物と統一的なものとするか、これらに対比させて賑わいを創出させるかなどについて、十分検討する。

《配慮事項》

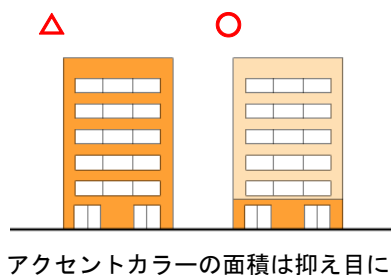
賑わいの創出を目的とする建築物については、この指針によらず別途個別に検討するものとする。

特に賑わいを創出する必要のないものについては、次の事項に配慮する。

- 屋根・外壁は落ち着きのある色彩を基調とし、周辺に対する違和感や圧迫感を抑えたものとする。

- 同じ色相・色調でも素材による質感、光のあたり方による見え方や、雨に濡れた時の変化などにも十分配慮する。

- アクセントカラーは、面積を抑えたものとし、その位置について十分な検討を行う。



- 照明デザイン（対象建物、光源の選定・配置）は、周辺の夜間景観に十分配慮する。



外壁は手取川の土色をイメージしたせっき質タイルによる土色でまとめ、周辺景観に配慮（石川県立大学／野々市町）



1階エントランスロビーの柱をアクセントカラーで彩色（平和町県営住宅13号棟／金沢市）



周辺景観に配慮してライトアップ（石川四高記念文化交流館／金沢市）

④素材・材料

耐久性や耐候性を十分考慮しながら、周辺景観を形成している素材・材料や、地域特性を表現する素材・材料の活用に努める。

《配慮事項》

- 地場産材や地域の特産品の活用により、地域イメージの演出に努める。



コンクリートの外壁に、杉板型枠により木目調の表情を演出
(いしかわ総合スポーツセンター／金沢市)



周辺環境に溶け込むよう、地域で使われている赤瓦を使用
(石川県九谷焼美術館／加賀市)

- 時間が経過した後のことを考慮し、素材・材料を吟味する。

- ・ エイジング材とアンチエイジング材の組み合わせに注意する。
- ・ 汚れ分解触媒（酸化チタン）配合の建材・塗装の使用も検討する。
- ・ 海岸地域の塩害や強風、山間地の風雪や凍結に対する耐候性、耐久性には特に注意する。

＜素材の経年変化例＞

- ・ 銅（ピカピカ）→酸化銅（茶色）→緑青
※近年は緑青が発生しにくい
- ・ 木材
外部：白木→部分脱色・汚れ→脱色（灰色）
内部：白木→飴色等
※経年により色の変化は樹種により異なる
※塗装の場合は塗料の特性により経年変化が異なる。



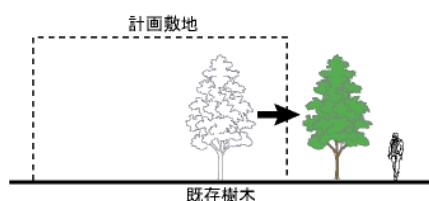
時間の経過とともに城郭の風合いが増し、観光名所としての魅了が向上
(金沢城公園石川門／金沢市)

⑤敷地内緑化

敷地内はできる限り緑化を図り、その際には季節感やゆとりが感じられる空間の演出に努める。

《配慮事項》

- 敷地内の景観的に優れた樹木などにはできる限り存置し、保全・活用を図る。



重要な樹木は、場合によっては移植して保全する



堂形のシノキを含めたファサードを残しながら改修・増築を実施
(旧石川県庁舎／金沢市)

- 既存植生と調和した樹種を選択により、周辺の自然景観になじませる。

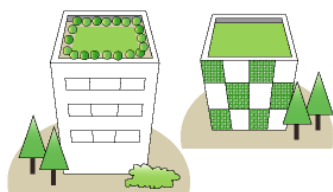


敷地内を緑化し、潤いのある景観を演出
(石川県庁舎／金沢市)

- 花や紅葉など四季折々の季節感の演出に努める。

- 屋上緑化や壁面緑化の採用を検討する。

※直接視野に入るため、雑然とならないようなメンテナンスも考慮



緑化部分のデザイン性にも配慮する



せせらぎ池の設置や常緑樹と落葉樹の混植により、四季の移ろいを感じられるよう演出 (大桑県営住宅／金沢市)

⑥その他（付属施設、ゴミ置き場、駐車場、設備機器類）

建物に付属する施設等についても、配置、形態、色彩等に十分配慮する。

《配慮事項》

- 形態や色彩は、周囲に溶け込むよう配慮し、配置についても周辺からの視線に配慮する。



ゴミ置き場を周辺景観に配慮して整備
（山中温泉ゆげ街道／加賀市）

- 配置等の配慮が十分に行えない場合は、カバーの設置や植栽等による目隠しを行うなど、周辺景観への配慮について検討する。



駐車場の周囲に生垣を設置
（石川県庁舎／金沢市）